

## 2020（令和2）年度 法学類卒業論文執筆・提出要領について

- ① 「卒業論文」を履修しようとする者は、あらかじめ、おおよそのテーマと指導教員を決め、指導教員の承認を得た上で、履修登録期間中に Web 履修登録を行い、4月30日（木）までに LMS コース「法学類生 Web 手続窓口」から履修申請を行うこと。

★アカンサスポータル>教学>LMS コース (WebClass) >人間社会学域>法学類>法学類生 Web 手続窓口>卒業論文>卒業論文履修申請

- ② 履修者は4年前期・後期を通じて指導教員の指導を受けることになる。ただし、「卒業論文」のための授業時間は時間割表の中に固定的に組み入れられていないので、適宜指導教員の指示に従うこと。
- ③ 論文は、次の要領で作成すること。
- (ア) 14,000 字程度とする。
- (イ) 原稿はA4判横書き、40 字×35 行を原則とする。
- (ウ) 本文にはページ数を記入し、目次、論文要旨（800 字程度）をつける。
- (エ) 表紙には、論文題名・氏名・名列番号・学籍番号・指導教員名・提出年月日を記入する。

④ **論文は、電子媒体（PDF原稿）にて提出すること。**

論文が、「金沢大学人間社会研究域『人を対象とする研究』倫理指針」に定める「人を対象とする研究」に該当するが倫理審査の申請対象から除外される場合には、「学士課程の学生および特別別科学生による審査申請の除外に係るチェック」（様式は [https://www.kanazawa-u.ac.jp/collegeschool/10\\_hs/rinri/](https://www.kanazawa-u.ac.jp/collegeschool/10_hs/rinri/) からダウンロードのこと）を研究実施前に教務係へ1部提出すること。倫理審査の申請対象から除外されるか否かは指導教員が判断する。

なお、電子媒体（PDF原稿）及び「学士課程の学生および特別別科学生による審査申請の除外に係るチェック」は、ダウンロード可能な状態で LMS コース上に5年間公開される。

- ⑤ **以下の提出期限を厳守すること。** ネットワークの不調など不測の事態が起こりうるため、期限より前に提出することが望ましい。

**【提出期限】 2021（令和3）年 1月14日（木）**

**【提出場所】 アカンサスポータル>教学>LMS コース (WebClass) >人間社会学域>法学類>法学類生 Web 手続窓口>卒業論文>卒業論文提出窓口**

- ⑥ 論文の判定結果は、他の授業科目と同様に、S・A・B・C・不可で表示し、合格者には6単位を与える。
- ⑦ なお、同一テーマにつき、数名の者が共同して卒業論文を履修しようとする場合においては、一人あたりの論文枚数は上記③の要領に準じるものとする。
- その場合、執筆分担部分を特定しない論文については、論文のはじめに、論文作成に至る経過と各履修者の役割分担を具体的に明記すること。評価は、論文全体の評価を考慮した上で、履修者ごとに行う。